



西 房美
(緑の党 代表質問)

**宇都宮城址公園での
爆発事件
被害者救済は**

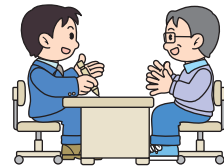
問 事件発生時に開催していた、宇都宮城址まつりの主催者である「よみがえれ！宇都宮城」市民の会の目的と、市の支援について聞く。

また、事件の被害者への支援が必要であると考えますが、まつりの主催者や、共催者である市の責任と、被害者への補償や支援について、どのように考えているのか。

答 「よみがえれ！宇都宮城」市民の会は、城址公園を活用したイベントなどを通じて、郷土への愛着や誇りを醸成することを目的に活動しており、市では発足当初から交付金を交付している。

爆発事件は、悪意により突発的に発生し、阻止は困難であった。発生直後には、避難誘導や看護師による救護活動を行い、イベントを即時中止し、園内の緊急点検を行っており、主催者や市の運営上の過失や、施設管理者としての過失も無いことから補償は難しい。

被害者に対しては、公益社団法人被害者支援センターとちがが窓口となり、相談対応や支援を行っている。市はこの機関と連携し、被害者の心情などに配慮して市内の各種手続きが円滑に進むよう、必要な支援を行っている。



その他の質問項目

- ①市民の問題解決のための弁護士採用
- ②自転車道のまち宇都宮にふさわしい自転車道路の整備
- ③樹木の剪定
- ④電磁波による影響



宇賀神 文雄
(社民党 代表質問)

**市民の声はLRT
より誰もが活用し
やすい公共交通**

問 公共交通ネットワークの基本的な問題点は、徹底した利用者目線の不足であり、利用者ニーズに沿った運営改善をするシステムをバス会社に導入させることを調査検討できないか。

また、公共交通ネットワークの構築に必要なバス運転手を今から準備しないと間に合わないと考えるが、慢性的な運転手不足対策への対応についての考え方を聞く。

答 バス事業者においては、利用者の意見や利用状況の把握に努め、接遇の向上や効率的な運行ダイヤの編成を行うなど、利用者目線の運行改善に

日常的に取り組んでいる。また、本市においては、生活行動実態調査やバスの乗り込み調査などを実施することで、市民の移動実態やバスの利用実態を詳細に把握し、交通事業者と協力しながら将来の公共交通ネットワークの検討を進めている。

バスの運転手不足対策については、バス事業者において、雇用条件の改善や、大型二種免許取得支援制度を設けるなど運転手の確保に取り組んでいるところである。運転手確保はバス事業者が主体的に取り組むべきと考えているが、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け運転手などの人材確保は重要であるため、効果的な支援のあり方を検討していく。

その他の質問項目

- ①労働行政②平和行政③農業振興④筋痛性脳脊髄炎(慢性疲労症候群)に対する支援
- ⑤在日朝鮮人等の権利擁護のための施策



佐々木 均
(愛うつのみや 代表質問)

**幸せな結婚へ
出会いの機会創出
拡大を**

問 結婚は個人的なことから行政が支援すべきことへと変わり、出会いを生む環境を整えることが必要である。

①栃木県は独身男性の数が独身女性より多いとの調査がある。本市の60歳以下の独身男女の数を聞く。
②これまでの県や市の取り組みが男女バランスの悪さにつながっていると思うが、本市の出会いの機会創出に関する取り組みや、男女バランスを是正する取り組みについて聞く。

答 ①27年の国勢調査結果では、15歳から60歳までの独身者数は男性が

6万4394人、女性が4万4879人と、女性の数が男性の約70%となっている。

②これまで、出会いの場を創出する交流事業の開催など結婚につながる支援を進めてきた。29年度は、結婚観、家族観の醸成を図っていくとともに、宇都宮餃子祭りなど、宇都宮の魅力である来訪者の多いイベントを活用した出会いの場を創出する交流事業に新たに取り組んでいく。

また、市が行っている事業の中で市外の女性を呼び込む内容を検討する。



その他の質問項目

- ①みんなに選ばれるまちとなるために必要な中心市街地の活性化
- ②みんなに選ばれるまちとなるために必要な観光資産の創出
- ③防犯やリスクマネジメントの観点から見た各種カメラの積極的利用
- ④郷土愛を育むために本市ができること
- ⑤LRT